

幹本申2号「『第5回定期委員会』発言等に基づく申し入れ」について、団体交渉を行う！！(パート1)

1. 2023年1月31日に発生した3025B列車、スローフが撤去されないまま起動開始した事象について、引き続き事象の共有を行うとともに、原因と対策を乗務員に周知すること。

(会社) シミュレーターを活用し、直ちに止める教育や議論を行っている。また様々なツールを用いて事柄・対策・原因は共有している。

(組合) 乗務員の中で現在もどうなっているのか分からないという声もある。安全は丁寧につくっていただくのも教育である。全職場での共有をお願いしたい。

2. 2023年6月2日に発生した、大雨による長野新幹線車両センター車両疎開に対する成果と課題を明らかにするとともに、車両疎開に対する対応を明確にすること。

(会社) 疎開アラームを長野新幹線車両センター被災後に導入し、鳴動から時間があり、車両をどこに持っていくのかなどの計画の作成、リードタイムがあるため検討の時間が持てた。

(組合) 迅速に対応できるように訓練を重ね、現場の声を集め課題を議論する事が必要。

3. 女性社員が安心して働けるよう、女性用設備の整備と改善を行うこと。

① 仙台新幹線運輸区4階休養室はこまめな温度調整ができず、また不具合も発生している部屋もあることから、各部屋で温度調整できる様に改善すること。

(会社) 一括空調管理、取り換えにはお金がかかる。必要なものは合わせて改修という形になる。

(組合) そういった声が多数あるのは受け止めていただきたい。休養の適正、猛暑の中の寝不足、当直に挙げた声に基づき調査していただきたい。

② 仙台新幹線運輸区4階休養室の浴室を現行から、個室のシャワー室にすること。

(会社) 声があるのは承知している。置き換えた方がいいと思っているが、お金がかかる。

(組合) 実態にそぐわない。月の体調もあり、抵抗がある。そ改善するのは責任ある最低限の部分である。

③ 那須塩原駅休養室シャワールーム脱衣所をカーテンで仕切りを設置すること

(会社) 昔の作りになっている。状況は把握しており早めに対処できるのであれば行う。

(組合) 引き続き調査を行い、実現に向けていただきたい。

④ 盛岡新幹線車両センター青森派出所に女性用ロッカー室を設置すること。

(会社) 休養室の中に個室として確保している為、それで完了している。

(組合) 女性社員が増える中、キャバや設備すべて後手後手になっている。女性社員を大切にすべき。男性目線と女性目線は違う。

⑤ 休養室の寝具類が汚れている場合があるため、適宜交換またはクリーニングを行うこと。

(会社) 汚れを確認した場合、当直に言っていただきたい。現状の対応はそうするしかない。

(組合) 今後も寝具はタイムリーに対応できる条件を整えていただきたい。

管理者に確認しやすい風土としていくことを確認！！

パート2へ続く